

企画建設常任委員会行政視察報告書

作成 副委員長 谷本梓

(1) 視察日程

5月15日

① 須坂市 須坂市役所(14:00~15:30)

5月16日

② 上田市 上田市役所(9:00~10:30)

③ 諏訪市 諏訪市役所(13:30~15:00)

(2) 参加議員

渡辺 孝男(委員長)

谷本 梓(副委員長)

渡邊 一子

亀井 滋晃

高井 実枝

村瀬 正樹

森 厚夫

(3) 視察目的

①長野県須坂市

IC 周辺の開発・企業誘致

地域未来投資促進法を活用した企業立地

②長野県上田市

新庁舎建設

上田市庁舎改修・改築事業

③長野県諏訪市

駅前開発・健康づくり

駅前交流すわっちゃオについて

諏訪湖周サイクリングロードについて

長野県須坂市

日時:5月15日(水)14:00~15:30

視察場所:須坂市役所

視察内容:地域未来投資促進法を活用した企業立地

○須坂市議会 須坂市議会浅井議長歓迎のあいさつ



○渡辺孝男委員長 あいさつ

○事業の概要説明

須坂長野東インターチェンジ周辺の開発について

2015年に(株)長工より、須坂長野東インターチェンジ周辺に大型商業施設開発について、市、商工会議所、市議会などに提案説明される。

市として大型商業施設建設を支援していく事を表明。

IC 周辺地区開発推進プロジェクトチーム発足(庁内の推進組織)

2016年インター周辺開発について、市で以前より計画していた「新産業団地」と「流通団地」「大型商業施設」を合わせ、全体で約34.7haを開発エリアとして進める事を表明。

IC 周辺地区開発の課題としては、土地使用区分(都市計画法、農業振興地域の整備に関する法律、農地法)土地利用の規制解除、特に農地転用等の農地調整は厳しく規制されており、この調整が大きな課題であった。

2017年に、経済産業省管の地域未来投資法が成立し、この法律に沿って調整を図ることで、課題であった、土地利用調整が図れる見通しとなった。

すべてを民間主体の開発とし、地域未来投資促進法による須坂市地域基本計画が国の同意を得ることが出来た。

地域未来投資促進法で苦勞した事項

・基本計画の策定

商業施設の立地が出来る「促進する分野」をどう設定するか。

・土地利用調整計画の策定

具体的な事業計画が定まっていないと策定が難しい。

・地域経済牽引事業計画

事業の確実性が担保できないと進出苦行は社内決定が進められなく、牽引事業の作成に苦慮。

その他苦勞した事項

・地区計画の決定

・交通対策

・道路整備

・災害対応

・住民説明

地域未来投資促進法が成立した事により、須坂長野東インターチェンジ周辺の開発が進んだが、計画の策定や、周辺の交通対策や道路整備、災害対応や住民説明など、すべてが順調に進んだわけではなく、時間がかかるものもあった。

開発により大型商業施設が出来ることによって賑わいとなり、地元の新卒者の雇用や、近隣市町村からの働き手を集めることが出来ると見込んでいる。

庁舎内の視察



須坂長野東インターチェンジ周辺の開発地区の視察



長野県上田市

日時:5月16日(水)9:00~10:30

視察場所:上田市役所

視察内容:上田市庁舎改修・改築実施について

○上田市議会 副議長歓迎のあいさつ



○渡辺孝男委員長 あいさつ

○事業の概要説明

上田市庁舎改修・改築実施設計(概要)について

老朽化した市役所本庁舎の建て替えと南庁舎の改修について説明と視察を行った。

水害の危険が無い地域であることから、災害に関しては地震対策として、免振装置に力を入れた。

各種の省エネルギーを導入する事により省エネルギーに配慮し、環境負荷低減を図った庁舎を目指した。

地中ヒートポンプ、ヒートパイプ除湿空調を利用した水冷媒天井放射空調設備、タスクアビエント照明と調光システムの導入、センターボイド利用の自然換気・自然採光システムなどの採用。

旧庁舎地下躯体利用のクールヒートトレンチ、既存南庁舎の断熱改修と多孔式天井吹き出し空調、BEMS 及びエネルギーの見える化、など。

SDGsなど環境に力を入れた庁舎となっている。

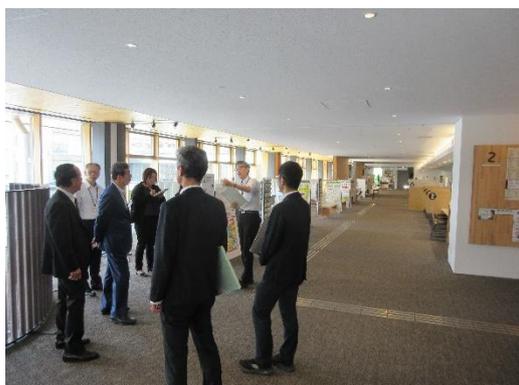
庁舎内の視察



屋上



テラス



窓口



議場

長野県諏訪市

日時:5月16日(水)13:30~15:00

視察場所:諏訪市役所

視察内容:駅前再発・諏訪湖周サイクリングロードについて

○上田市議会 副議長歓迎のあいさつ



○渡辺孝男委員長 あいさつ

○事業の概要説明

①駅前交流テラスすわっチャオについて

大型百貨店が閉店する事により、駅前の賑わいが無くなることを危惧し、民間事業者が、大型店舗跡地を取得、再開発事業を実施。

市民懇談会やワークショップを実施し、核店舗となるスーパーマーケットの出店や、諏訪市の公共スペースの確保、駅前の賑わい創出や、駐車場の確保・緑地スペースの確保など色々な課題が出された。

「多世代・多機能・多目的」のコンセプトのもと、駅前交流テラスすわっチャオが開設された。

地域交流センターや、憩いの場、学びの場、リゾートテレワークやワーケーションの場として、利用者に合わせた柔軟な設備を設置した。

駅前の賑わい創出の一端を担っている。

すわっチャオ内の視察



②諏訪湖周サイクリングロードについて

近隣他市と連携し、健康づくりの一端を担い、諏訪湖周辺に住む人や訪れる人が自転車で安全で快適にサイクリングを楽しめる環境づくりを目指し、自転車を活用した地域活性化をめざしている。



サイクリングロードの視察



まとめ

須坂市の視察では、行政主体ではなく、大きな民間企業が主体となり開発を進め、地域未来投資促進法が出来た事により、農地転用が容易に可能となった事で開発が進んだ。

民間企業との連携が参考になった。

上田市の視察では、上田市庁舎改修・改築実施により、免振装置の設置や環境に配慮した設計が大変参考になった。新庁舎建設に活かしていこうと考える。

諏訪市の視察では、こちらも民間企業の再開発で駅前の賑わい創出を市と連携し、商業施設と公共スペースを確保し、子どもから大人まで訪れる事が出来る場所をつくりだしていて、今後は民間との連携が要だと考える。

この視察により、企業誘致には民間企業との連携が要となる事、新庁舎では災害、環境に配慮した設計が重要であることなどを学んだ為、今後の市議会に活かしていきたい。